

居るものは明かでありませんが、これがない爲に和種として報告されるのが多いやうです。和種とは次の如きもので本縣内には殆んど居りませんから特に注意して頂きます。

- 1、頭頸大、軀幹微長、四肢稍々大にして短く尻狭く傾斜して後方に尖り筋肉の發育概して良好ならず。
- 2、長毛(タデガミ、シリゲ、アケケ)は多くして皮膚厚く全体の被毛粗雑にして長し。
- 3、体高は小にして殆んど四尺七寸以下なり。

豚の生産状況調

(市町村報告期一月末日限)

本調査に關しては本誌(七月號)本道場欄に調査の目的、調査期、報告期等詳細掲載致しましたのですから前々號御参照の上報告期を確守せらるゝ様充分注意せられたいのであります。

家兔飼養状況

(市町村報告期十一月末日限)

家兔の改良増殖を圖るは時局柄極めて肝要の事であります關係上本年以降當分調査を致す事になりました。本調査に關しましては昭和十三年四月二十七日統收第三七號で通牒致しましたから夫々御手配の事とは存じますが熟讀の上誤謬のないやう、報告期限を失する事のない様充分御注意を願ひます。

一反歩收穫高並單價

秋季收穫の主なる作物の昭和十二年に於ける縣平均の反當收量及單價を示せば次の通りであります。

作物	反當收量	單價
水稻	二、一〇二	三〇、四九
陸稻	一、五九三	二七、一八
糯稻	一、五九三	二七、一八
高粱	一、四九一	二七、四六
粟	一、四九一	二七、四六
黍	一、四九一	二七、四六
大豆	一、四九一	二七、四六
黑豆	一、四九一	二七、四六
小麦	一、四九一	二七、四六
大麦	一、四九一	二七、四六
蕎麥	一、四九一	二七、四六
燕麥	一、四九一	二七、四六
其他	一、四九一	二七、四六

統計課長會議

川崎課長が出席

去る十月十八日より全月二十二日迄農林省、商工省、内閣統計局に於て道府縣統計課長會議開催に付本縣より川崎統計課長が出席した各關係省の議題次の如し

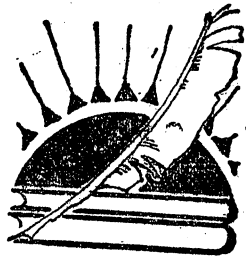
- ▼農林省
 - 1 農林統計調査の指導徹底に關する件
 - 2 統計思想の向上方の件
 - 3 事變下に於ける家畜調査の件
 - 4 農作物等の災害概況速報方の件
 - 5 蠶絲類並繭調査の件
- ▼商工省
 - 1 工場調査の件
 - 2 會社統計に關する件
 - 3 其他の件
- ▼内閣統計局
 - 1 國民貯蓄調査に關する件
 - 2 其他の件

最近の統計

第一回豫想收穫調査では

陸稻は増産・水稻は減收

總計で前年收穫高と比較して二割二分三厘の減收を豫想さる



稀有の被害に悩まされ、暴風雨に祟られた縣下の米生産高は果してどういふ結果だらうかと一般から非常に注目されてゐるところであるが、縣總務部統計課が去る九月二十日現在により調査した米第一回豫想收穫高の發表によると、本年の米作付反別は十三萬一千六百九町六反で前年作付反別に比すれば二千二町九反(一分五厘)を減少し、豫想收穫高は百七十三萬六百五十石で前年收穫高に比し四十九萬五千五百三十三石(二割二分三厘)を減じ、前五ヶ年平均收穫高に比し三十三萬五千四百四十九石(一割六分二厘)を減じた。蓋し本年の稻作景況は苗代期に於ては氣候概して適順で苗齡が進んだが

移植後低温寡照だつた爲分蘖の進展不良だつたに加へ、六月下旬乃至七月上旬に於ける連續的豪雨に依り、稀有の被害を蒙り、其の後七月中旬になつて天候は稍回復したが、偶々九月一日の颱風の影響に依り中生、晩生種の登熟及結實を阻害せられたのと再度の被害を蒙つたものがあり、更に被害を増大した。且稻熱病、螟蟲等も發生し、水害地帯は殊に其の被害甚しく、又二十日後の氣候は氣温の變化多く適順を欠いた爲、水稻の登熟順調でなく、當時の作柄は良好ではないが、陸稻は氣候概して適順に經過し、登熟極めて良好だつたので前記の如き收穫を豫想せらるゝに至つたものである。之を郡

市別に示せば次の如し(△印は減を示す内譯と計と一致しないのは四拾五入十位に止めた爲である。)

市別	作付反別		第一回豫想收穫高		前年收穫高		前年ニ比シ増減	
	作付	反別	豫想收穫高	前年收穫高	前年ニ比シ増減	前年收穫高	前年ニ比シ増減	
東茨城	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
西茨城	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
那珂	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
久慈	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
多賀	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
鹿嶋	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
行方	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
新治	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
筑波	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
眞壁	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
結城	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
猿島	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
北馬	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	
合相計	三三・三	△	一六、九三三	一六、九三三	△	三、七三三	二、七三三	

市別	作付反別		豫想收穫高		前年收穫高		前年ニ比シ増減	
	作付	反別	豫想收穫高	前年收穫高	前年ニ比シ増減	前年收穫高	前年ニ比シ増減	
東茨城	二六・五	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
水戸	二六・五	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
合相計	二六・五	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	

市別	作付反別		豫想收穫高		前年收穫高		前年ニ比シ増減	
	作付	反別	豫想收穫高	前年收穫高	前年ニ比シ増減	前年收穫高	前年ニ比シ増減	
西茨城	四八〇・一	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
那珂	五、六五七	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
久慈	六、五四四	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
多賀	三、六四七	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
鹿嶋	六、四四七	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
行方	五、八三三	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
新治	三、五七二	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
筑波	八、六六六	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
眞壁	九、四三六	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
結城	五、九八三	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
猿島	四、四〇二	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
北馬	四、五五五	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	
合相計	九、六六六	△	一、七〇〇	一、七〇〇	△	一、七〇〇	一、七〇〇	

全国的にも 減収か

農林省の発表

三年来第一回豫想收穫高は左の如く、作付反別は三百二十一萬五千二百八十町三反で前年に比し千二百七十町二反(四毛)を増し、九月二十日現在の豫想收穫高は六千四百七十五萬八千七十石で、前年實收高に比すれば百五十二萬九千六百四十五石(二分三厘)を減少し、前五箇年平均實收高に比すれば二百二萬七千九百九十一石(二分二厘)を増加した。各府縣別作付反別に豫想收穫高は左の如くである。

尙ほ十月四日農林大臣官房統計課が發表した全國の昭和十

